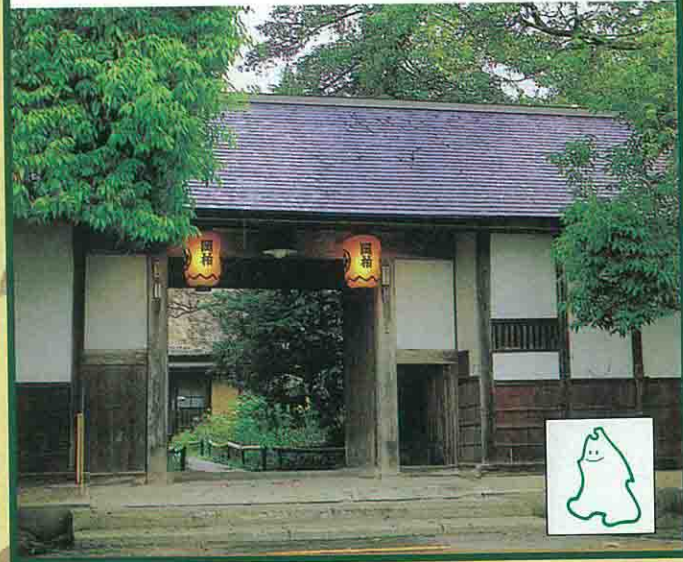


NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA 新・奥の細道

山形西ルート
⑤

鳥海山と史跡のみち (山辺町・中山町)
Chokaizan-to-shiseki-no-michi



山形県

周辺のアクセスガイド

中山町までは
・JR左沢線で羽前長崎駅まで山形駅から20分。山形自動車道寒河江ICから車で5分。山形駅からバスまたは車は車で20分。
山辺町までは
・JR左沢線で羽前山辺駅まで山形駅から15分。山形駅からバスまたは車は車で20分。



観光・宿泊のお問合せ	中山町観光協会 〒990-04 中山町大字長崎120 山辺町観光協会 〒990-03 山辺町大字山辺30	☎0236-62-2111 ☎0236-25-5200
交通のお問合せ	JR羽前長崎駅 〒990-04 中山町大字長崎4206 JR羽前山辺駅 〒990-03 山辺町大字山辺 山形交通バス案内センター 〒990 山形市香澄町3-2-1	☎0236-62-2221 ☎0236-64-5055 ☎0236-32-7272
コースのお問合せ	中山町産業課 〒990-04 中山町大字長崎120 山辺町企画開発課 〒990-03 山辺町大字山辺30 山形県環境保護課 〒990 山形市松波2-8-1	☎0236-62-2115 ☎0236-25-5204 ☎0236-30-2207

表紙の写真は、柏倉家住宅

GUIDE

みどころ案内

ひまわり元気のとと Himawari-genkinsato

平成4年にスポーツ・文化の拠点、町民体養交流センターが完成し、中山町の情報発信基地『ひまわり元気のとと』がオープンした。主要施設のひまわり温泉『ゆ・ら・ら』は宿泊ができる入浴施設で、日帰り利用もでき子供から老人まで好評を得ている。また、室内温水プールは“ウォーター 슬라이ダー”や、“流れるプール”などを一年中楽しめる。

- ◎ゆらら
 - ◆入浴時間/6:30~22:00(受付は21:00まで)
 - ◆休館日/毎月第3月曜日(休館日前日の宿泊も休み)
 - ◆入浴料/大人 300円
小学生 150円
乳幼児 無料
 - ◆お問い合わせ/ひまわり温泉 ゆらら ☎0236-62-5777代



ゆらら

- ◎室内温水プール
 - ◆利用時間/10:00~11:50(土・日・祝日のみ利用可能)
13:00~14:50(開館日すべて利用可能)
15:30~17:20(開館日すべて利用可能)
18:00~20:20(火~土・祝日のみ利用可能)
 - ◆休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日や休日の場合はその翌日) 年末年始 12月29日~1月3日
 - ◆使用料/大人 400円
中学生以下 200円
3歳未満 無料 ※料金は利用時間帯帯となります。
 - ◆お問い合わせ/室内温水プール ☎0236-62-4059

- ◎体育館・テニスコート・すばく中山(屋内ゲートボール場)・グラウンドの予約利用窓口は総合体育館。
◆お問い合わせ/総合体育館 ☎0236-62-2300



室内温水プール“流水プール”



岡千手観音 Oka-senjukannon

最上三十三観音第十四番札所として知られ、全国各地からの参詣者が訪れる。雨乞い観音としても名高く湯殿山に向かう脇街道沿いにあり、鐘楼や仁王門が歴史を感じさせる。ご本尊は『十一面千手観音像』で奈良県にある大和岡寺の本尊の観音像と同木で造られたとの言い伝えがある。



岡千手観音

庄内への主要街道「六十里越街道」に向かう通過地点中山町長崎の西部山麓を通るこの道は、六十里越街道として、また湯殿山参詣の道として、その面影を石碑などの文化財の中に見ることが出来る。このコースは、北から南へ辿る順路で設定されており、柏倉家住宅を中心とする古い家並みの間を通り、りんご、プラム、などの様々な果物の畑を抜け、岩谷観音・鳥海神社へと続く。またルート沿いには、ひまわり温泉「ゆらら」、温水プール、野球場、体育館などが整備されており、歴史と温泉とスポーツを一度に体験できるコースである。

柏倉家住宅 Kashiwagurake-jutaku

柏倉家住宅は、山形盆地を一望に見渡せる小高い丘のうえにあり、敷地4,000坪の広大な屋敷である。柏倉家は、江戸中期に山形城主堀田氏の支配下で大庄屋を勤めた旧家である。建物は、明治年間に一部修復してあるが山形県地方の当時の民家様式を代表し、地主階層・大庄屋の屋敷構えを今なお残すものとして高く評価されている。県指定文化財。



柏倉家住宅全景

- ◆入館料/1,000円(お茶・菓子付き)
- ◆団体は予約が必要
- ◆お問い合わせ/柏倉家住宅 ☎0236-62-3521

岩谷十八夜観音 Iwayajuhachiya-kannon

観音堂は、飛鳥時代(西暦600年頃)に蘇我馬子の家臣の子孫右近衛秀豊が創立し、その後承和4年(八三七)慈覚大師(天台宗山門派の祖 円仁)がこの地を訪れ再興したと伝えられ、古くから眼病の神として信仰を集めた。とくに、オナカマと呼ばれる巫女たちの総本山として栄え、室内にはオナカマや参詣者が奉納した遺物が数多くあり、国の重要民俗文化財に指定されているものもある。お祭りは、毎年8月18日に行われ、帰省した人や参詣者で賑わう。そのお祭りでは、修験者による火渡りの儀式が行われ飛び入り参加もできる。※オナカマ——恐山の「いたこ」と同じように霊を呼ぶ巫女



岩谷十八夜観音

火渡りの儀式

鳥海神社 Chokai-jinja

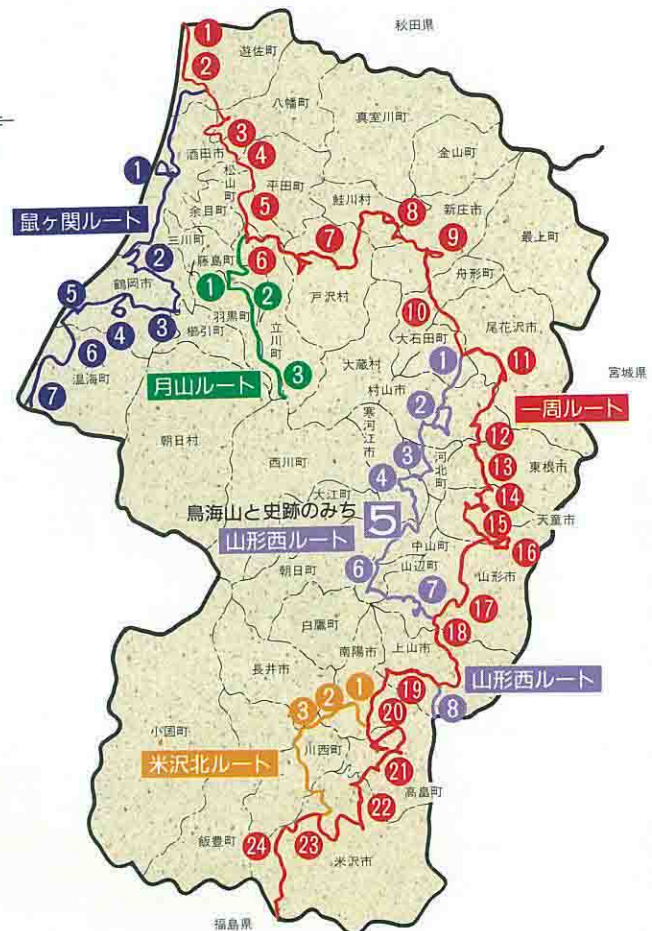
標高531mの鳥海山は、古い時代から小鳥海として親しまれ、山辺郷の田畑を潤す水源地の山で、永遠の恩恵を受ける神聖な山として水上山と呼ばれていました。山頂には、庄内の鳥海山の分身といわれる鳥海神社が祀られ、村山平野はもちろん東に蔵王山を中心とする奥羽山脈、西に朝日連峰、月山など大パノラマを展望できる景勝の地です。「世界の良心」安達峰一郎博士(常設国際司法裁判所長、山辺町出身)は、少年時代に山頂の大杉を眺め、自分も立派な人間になり世の中のために尽くそうと誓いました。近くには、鳥海神社の開祖稲村家があり、徳川家拝領と伝えられる門、周囲の石垣は、紅花家商として栄えた面影を今に伝えている。



鳥海神社鐘楼

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で終由して福島県郡山に至るルートになっています。また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

- この“新・奥の細道”を楽しむために
1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
 2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
 3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。